



戸名所百人美女の内 目黒龍泉寺 歌川国貞(初代),歌川国久/画(江戸東京博物館蔵)部分

2019年度 第28回 開講式が開催されました

4月3日(水)、第28回開講式が、武蔵小杉プラザ401会議室で行われ、会場は新規受講生の皆さまをはじめ教室が一杯になる盛況でした。第1部では、来賓として加藤順一副市長、小田嶋満教育長をはじめ多くの方のご出席をいただきました。

開講式は、新任の葉倉朋子事務局長の司会で始まり、太田猛彦学長から、「アカデミーは、受講生の皆さまに支えられています。皆さまと盛り上げていきましょう」とお話があり、藤嶋昭理事長からは中国の古典、「人、学ばざれば道を知らず」等を引用されたお話がありました。加藤順一副市長からは、「昨今、人間関係の希薄化が言われている。人と人とのつながりを大事にし、多くの方の地域参加を期待します」とのお話をいただきました。第3部、オリエンテーションでは、新しく参加された受講生の皆さまにアカデミーの概要について説明が行われました。



加藤順一 川崎市副市長

第2部 記念講演 「黄色いベスト」運動とマクロンの蹉跌

講師 東京大学教授 宇野 重規 先生

昨年11月から40週続く政府への抗議デモ「黄色いベスト」運動は、燃料税の引き上げが、富裕層減税を進めるマクロン政権から、車に依存しないと生活できない層への攻撃とみなされ発生した。デモには右から左までの活動家が含まれ、推定最大40万人の参加者、世論の高い支持、有罪者・死亡者・保険支出の多さがあり、背景には上層20%の収入が下層20%の約5倍という格差や高失業率がある。

マクロンの政策は、環境政策、ヨーロッパ主義、フランス企業の保護など新自由主義的改革の一方、左派的側面をもち、共和主義者＝国家主義者の顔もある。政治思想を学び、異質の共存、公正さ、歴史と向き合うことを重視するが、選挙経験がないことで政治的経験を欠き、「あれもこれも」と空回りする「未熟な改革者」とのイメージも免れえない。国民連合への対立候補、EUの指導者としての期待もあるが、「黄色いベスト」運動を乗り越えられるかは現政権の蹉跌と言えよう。



“総会”開催のお知らせ

開催日時：5月21日(火) 16:00~17:30 生涯学習プラザ301

2018年度の事業報告、2019年度の事業計画、次期役員改選が主な議案です。

2019年度2月度理事会報告-2月22日（金）開催

1) 主な報告事項

- ・ 太田猛彦学長が再任されました。
- ・ 新事務局長に葉倉朋子氏が4月より就任されました。
- ・ 講座・WSの担当理事が決まりました。

2) 主な審議事項

- 仮) 科学・技術史講座開設について
新設講座では、それまでの世界観を一変させるような働きをした科学・技術を取り上げ、学びます。

🔔 2018年度後期代表世話人会議の報告

事業推進部会

去る2月6日の午後、2018年度後期の運営代表世話人代表会議が開催されました。当日は、各講座・WSから29名、理事16名が参加し、活発な意見交換の場となりました。

1. 世話人ガイダンス

- ・ 今回初めての試みとして、代表世話人会議の前に運営世話人ガイダンスが行われました。事業推進部会から「運営世話人の手引き」をもとに世話人の役割、知っておいてほしいアカデミーの制度・ルール、4月からの制度変更、機材の取り扱いについて説明を行い、出席者からは抽選方法、講座単位での採算に関する質問がありました。

2. 会議第Ⅰ部（報告）

- ・ 続いて行われた代表世話人会議の第Ⅰ部では、NPO4部会（総務・事業推進・広報・地域連携）、またフェスタ、出版、受講生のつどいの各委員会から、半期の活動と現在検討中の課題が報告されました。
- ・ この中で、生涯学習財団ホームページでアカデミーの講座・WS告知ができることが財団総務室の平井係長より紹介されました。

3. 会議第Ⅱ部（協議）

- ・ 第Ⅱ部は以下の議案について、協議されました。
 - 前回世話人会議で出た課題への対応
 - 今後の講座新設に関する意見・要望
- ・ 生涯学習プラザで2019年度後期から科学関連講座が計画されており、その進捗報告がありました。現行の科学講座担当理事と世話人、事業推進部会の担当者によるプロジェクトに学長・副学長が加わり、準備を進めています。
- ・ これについては、開設する曜日と時間、今後の新設計画、WS新設の可能性、特別講座など会場の空き時間を利用した講座開設などについて、質問・意見が寄せられました。
 - 生涯学習プラザ以外の会場での講座運営
- ・ 現在、プラザ以外に高津市民館、ミュージア川崎、新百合21ホール、麻生市民館、宮前市民館、東海道かわさき宿交流館などで講座が行われており、世話人の確保や運営の仕方が課題となっています。
- ・ プラザ内の講座でも、每期テーマが変わる講座の運営、世話人体制を検討してほしいとの要望がありました。
- その他、講座拡大を支える事務局の人員体制・対応は大丈夫なのか、世話人の登録状況を把握して対策を立てられないかなどの質問が寄せられ、今後NPO法人でも検討を進めていくことが確認されました。



第11回 受講生のつどい 開催!!

3月6日(水)、2018年度修了式を兼ねた「受講生のつどい」が第1部・第2部構成で開催され、132名の方々に参加いただきました。今年度は233名の受講生が修了(30単位を取得)され、当日69名が出席されました。修了生を代表して海部康人さん(音楽I)が修了証書を太田学長より授与され、「受講する講座数が少なくても時間をかければ修了できることが励みになった」などのお話をされました。

第2部では、「もつみフラメンコ」の素晴らしい踊りと演奏を堪能し、『オレー』の掛け声とともに会場は熱気に包まれました。「先生の時間・くつろぎタイム」では先生方のユーモアあふれるお話をお聞きし、恒例の「ウルトラクイズ」も大いに盛り上がりしました。

受講生のつどい実行委員会



NPO 正会員募集!!

NPOの活動の充実と発展は、皆さまのご協力とご理解が必要です。

是非、NPO正会員にご加入いただきますようお願い申し上げます。

申し込み・問い合わせ先

かわさき市民アカデミー事務局 電話044-733-5590

🔔 「お答えします」－アカデミーとNPOに関する Q&A

アカデミー会員とは？

ある受講生の方から次のような質問を受けました。

Q「今わたしは、聴講生として講座を受講していますが、聴講生の他に会員として受講している方もいます。会員と聴講生とはどのように違うのでしょうか？また会員になると、受講する上で何かよい点があるのでしょうか？」

それに対して、次のように回答しました。

A「会員は、長い期間継続してアカデミーの講座・ワークショップを受講したいと考えている方のための制度です。年度初め（前期）の受講申し込みをする際に、会員として受講するか聴講生として受講するか選択します。会員として受講する時は、受講料と別に会費（2年会員は12,960円、1年会員は7,560円）を払い、自分が主に学ぼうと思う学群を選択します。会員は、受講料に加え会費を払うこととなりますが、その分受講料は安くなります。また、受講申し込みが多く抽選になった時に、自分が選んだ学群の講座では、優先措置が受けられるという特典があります。だから、アカデミーで継続して学びたいと考えている方には、会員として受講されることをお勧めします」。

アカデミーには、スタートした時（1993年）から会員制度がありました。「市民大学」を目指したアカデミーでは、大学の「学生」にあたる存在を「会員」と呼びました。アカデミーの会員は、大学の学生と同じように修了（卒業）を目指します。アカデミーを修了するためには60単位が必要とされました。これは自分の専攻コースの講座・演習を履修し2年間で24単位、専攻コース以外の講座を履修し5年間で16単位（そのうち川崎学4単位は必修）を取得すること。その他に課題研究（演習のレポート作成など）や制作（芸術コースの作品づくりなど）を行い2年間で8単位、社会活動（ボランティア活動やアカデミーの講座企画や運営など）に参加することで12単位取得することが条件でした。

アカデミーがスタートした時の会員は142名でした。そのうち2年後に60単位を取得し修了資格を得た会員が49名、その後の3年間で修了資格を得た会員が26名いました。会員期間が終わる5年後、会員142名のうち修了条件をクリアした人は合計75名で、修了率は53%でした。つまり、会員の約半数しか修了できなかったのです。これを見ると当時の修了条件はかなり厳しいものだったことが分かります。

その後、修了条件は徐々に緩和され、現在は30単位（そのうち自分が選択した学群から10単位）取得することだけが条件になり、川崎学の必修・社会活動への参加という条件や、5年間という修了年限もなくなりました。また修了制度は会員だけでなく、聴講生にも適用されるようになりました。このように、修了制度は会員のためのものから、より多くの受講生に関われたものへと変わって来たのだと言えます。

編集後記

4月号より、受講生の方から頂戴するアカデミーの制度に関する質問にお答えする記事を掲載いたします。

記事では、質問への回答とともに、「その制度がなぜつくられ、どのように変わって今に至ったか」という点にもふれてみたいと思います。どうぞ一読ください。

なお、アカデミーに対するご質問等ございましたら、右記のかわら版編集委員会まで、お寄せください。編集委員 K, T

認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー

発行人 広報部会
編集人 かわら版編集委員会

川崎市中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習プラザ 3F

電話：044-733-5590

FAX：044-722-5761

メールアドレス：info@npoacademy.jp

ホームページ：http://npoacademy.jp/